

日本でも代表的な化石産地

### 成羽の化石層



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	なりわのかせきそう
所在地	高梁市成羽町成羽・井原市美星町明治
指定年月日	昭和30年7月19日
解説	中生代三畳紀(約2億年前)の化石地層。日本でも代表的な化石産地である。今は絶滅した植物の化石からなり、その種類は約100種を超える。エントモノチス(※)の層状露出地としては日本に類のない程見事なものである。(※エントモノチスとは、中生代～三畳紀後期にさかえた軟体動物二枚貝類の一種)
アクセス方法	JR備中高梁駅から約12.5km
公開状況	自由
設備	
備考	成羽町美術館では中生代三畳紀の日本最古の植物群の化石が展示されています。【成羽美術館】入館:9:30～16:30 / 休館:月曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始 / 有料 / 問:0866-42-4455

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	成羽の化石層
よみかた	なりわのかせきそう
しょざいち (所在地)	高梁市成羽町成羽・井原市美星町明治
していたひ (指定した日)	昭和30年7月19日
せつめい	およそ2億(おく)年以上前の中生代(ちゅうせいだい)の化石地層(かせきちそう)です。大昔(おおむかし)の植物(しょくぶつ)の化石が100種類(しゅるい)以上も見つかっています。ここから出てきた化石は、成羽町美術館(なりわちょうびじゅつかん)で展示(てんじ)されています。